

令和5年 公認会計士試験

TAC 合格祝賀パーティー



TAC管理会計論-テキストチェックゼミ(安達)

第1回 ガイダンス&材料費

2023年12月14日 19:00～

ガイダンス ～はじめに ※注意点※～

本ゼミは、「**論文生(リスタート生)**」を対象にしております。

そのため、短答生、論文生(初年度生)にとっては、重荷になる内容になっています。必ず、TACのカリキュラムをしっかりと消化するようにしてください。

また、論文生(リスタート生)であっても、他科目の成績が良くない方は必ず苦手なものを優先して勉強するようにしましょう。

総じて、去年の参加者からの感想は、

「とっても大変で、しんどかったけど、受けて本当によかった！」

でした。

準備など、大変だと思うので、他にめちゃくちゃ優先するものがある方は、そちらをやってください。必要があれば、相談してください。

ガイダンス ～管理会計論の勉強の仕方について～

Q. なぜ，勉強をしているのか？

→本試験で点数を取れるようにするため。

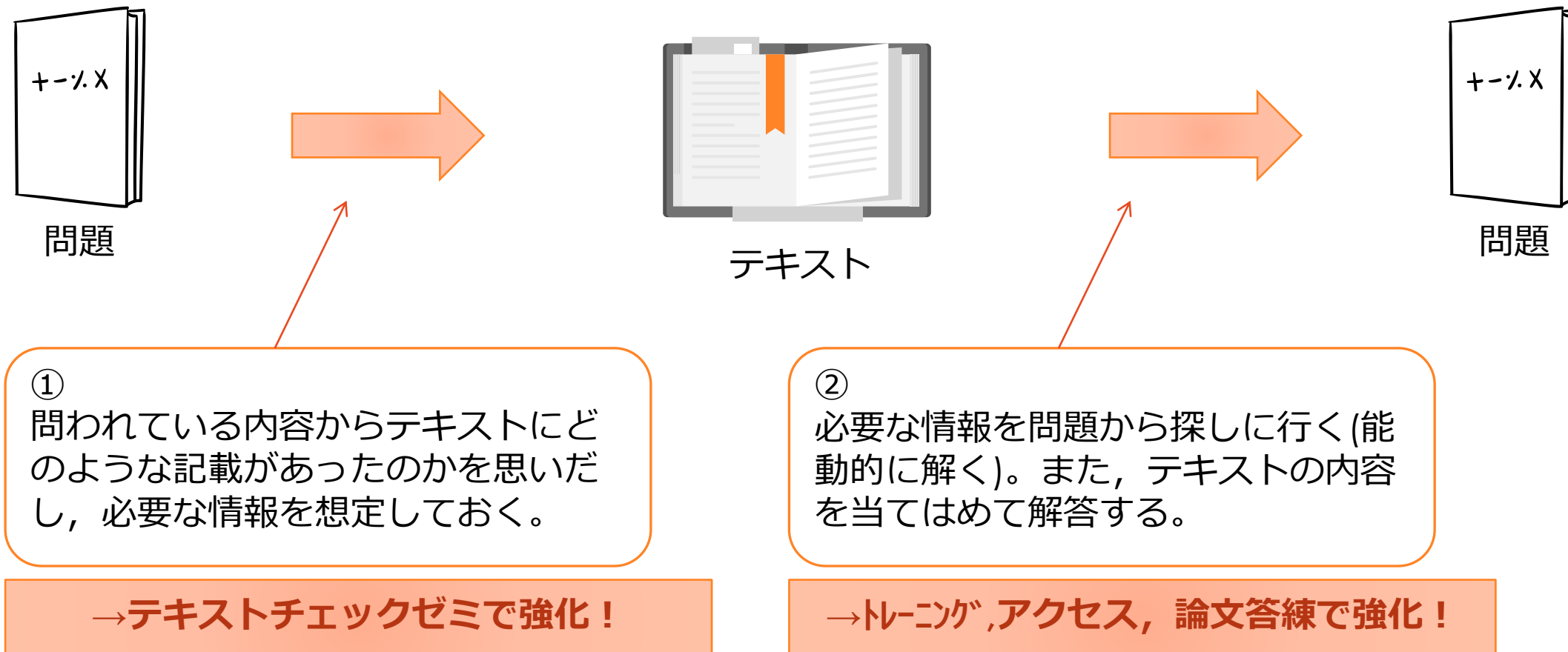
Q. 本試験で点数を取れるようにするためにはどうするのか？

→本試験で行うことの練習を勉強する段階からいかに作りこめるのか。が重要。

では，本試験で行うこととは何でしょうか？

ガイダンス ～管理会計論の勉強の仕方について～

管理会計の問題を解く際の思考プロセスを言語化すると、下記ようになります。



※必ず、両面からの対策を行いましょう！テキチェが完璧になればOKではありません！！

ガイダンス ～管理会計論の勉強の仕方について～

他の科目もそうですが、特に、管理会計論はいかに自分の知識を“使うのか”が大事です。
ここで意識してほしい考え方は「具体と抽象」です。

皆さんが普段解いている問題は「具体」です。

例えば、「 $19+28=47$ 」これは具体ですね。

「 $19+28$ 」は

皆さんはな

→教科書の

「1の位から

これがまさ

この、抽象

ただし。問

不可能ですよ。新しい問題が解けるようになることは。

19+28を何度も何度も繰り返す勉強ばかりしてきていませんか？
それだと、新しい問題が解けるようになることは正直不可能です。

どうしなきゃいけないか。
テキストをしっかりと理解して使えるようにするしかないですよ。

管理会計論は、利用者にとって有用であれば、いいんです。
無数に問題を作成することができます。
自分の持っている知識をいかに当てはめることができるのか。
ここを意識しましょう。

生まれます。

ガイダンス ～管理会計論の勉強の仕方について～

あえて今回のゼミは参加者の皆さんにあてることにしています。

これは、本試験の緊張の中、焦りの中でも冷静に自分の持っている知識を吐き出せるかどうかを訓練するためです。

今回のゼミは予習必須です。が。テキストの範囲を逸脱することは一切ありません。

ただし、テキストを暗唱してきて何にも理解していないのは本当にお勧めしません。

論文理論問題集もそうですが、暗唱は大反対です。必ず、しっかりと内容を理解したうえでこのゼミに臨んでください。

予習不十分の状態で参加してもらおうと、全く進まなり他の人に迷惑になります。僕のことを嫌いになるかもしれませんが、それくらいしっかりとした覚悟をもってこのゼミに参加してもらいたいと思っています。

最後までついてきてくだされば、管理が超得意になっているはずです。頑張りましょう。

ゼミ運営のルール

- ① 当てられたら必ずミュート解除してください！！
- ② 質問は最後にまとめて受けます！！
- ③ 試行錯誤やっておりますので、不手際等は申し訳ありません。
- ④ なるべく当てられる側になりましょう！視聴者だと効果は大半減します。
- ⑤ 参加者が多いと全員当てられない可能性もあります。偏るかもしれません。嫌っているわけではなくて、単純に私のミスです。。申し訳ないですが、アピールください。。
- ⑥ 今年でもう最後にしましょう！！みんなで合格！！
- ⑦ 参加者への悪口などは絶対に禁止をお願いします！！
- ⑧ ゼミ運営の場においては、皆様に気持ちよくなってもらいたいとは思っていません。最終的に合格されることがサービスだと思っています。時に厳しいこと、不快に思われることなどあるかもしれませんが、悪意はなく、皆様に奮起していただきたい気持ちですので、ご理解ください。

ゼミ運営のルール part2

- ⑨ 視聴者参加で私の質問をひたすらメモるのはなしでお願いします。正直意味ないです。
- ⑩ 質問中はテキストを見てはいけません。全部終わってからテキストを開いてください。**
- ⑪ テキストを見て答えていることが発覚したら, , , , , とんでもないことになります。
- ⑫ わからないことはなるべくこの時間までに解消してきてください。
- ⑬ Twitter のDMで質問していただいてもいいですが、最近めっちゃめっちゃ返事遅いです。。。推奨しません。。。。
- ⑭ わからなかったことを後で確認できるように何かメモする紙があったほうがいいです。
- ⑮ ぜひ、勉強仲間がいる人は友達同士でもやってみましょう！
- ⑯ いつか交流会したいですね～。

ゼミ受講の仕方

1. **予習必須**です。中途半端な予習は他の参加者の迷惑になりますので、頑張ってやってきてください。

2. テキストの読み方

- 自分の頭の中の知識を整理整頓しましょう。そのためには、論点のつながりを意識したテキストの読み込みをしましょう。→テキストの見出しを読む、目次でテキストを思い出す等。
- テキストを読むにあたって、疑問を持って読むようにしましょう。そして、その疑問を自分で解決するようにしましょう。これは、論文試験での考え方につながります。→棚卸減耗費は、なぜ間接材料費ではなくて、間接経費なのか？
- 5分でも2分でも1分でも、よいのでテキストを思い出しましょう。思い出すことがとっても大切です。アウトプットしようと思わないと、インプットできません。

3. ゼミ中

- 要らない紙などを手元において、後で確認したいことや、質問事項などあればメモしておいてください。
- 他人が当てられているときに、自分が当てられたと思って考えておきましょう。
- **質問を繰り返し読み上げるのは大変なので、集中力もってお願いいたします<math>m(_)m>**

ゼミ受講の仕方 ～ 2. の補足

論文式試験における問題の考え方は下記の通りになるかと思います。

Q. 棚卸減耗費≠間接材料費となり、棚卸減耗費＝間接経費になるのはなぜか

ここで、間接材料費と間接経費で、間接費になることは問題ない。

棚卸減耗費が材料費ではなくて経費となることについて証明する。

それぞれの定義を確認すると、

材料費＝物品の消費によって生じる原価

経費＝材料費、労務費以外の原価要素

棚卸減耗費＝紛失、盗難、破損、蒸発などによる減少分

上記より、棚卸減耗費は、材料費の定義を満たさない。また、労務費ではないことは自明であることから、

∴棚卸減耗費は間接材料費ではなく、間接経費となる。

(Q.E.D)

ガイダンス ～〈原価計算編〉スケジュール～

回数	実施日	時間(目安)	実施テーマ
1	2023年12月14日(木)	19:00~21:00	ガイダンス&材料費
2	2023年12月21日(木)	19:00~21:00	第2章：費目別計算
3	2023年12月28日(木)	19:00~21:00	第3章：製造間接費の配賦～第4章：部門別計算
4	2024年1月11日(木)	19:00~21:00	第5章：個別原価計算
5	2024年1月18日(木)	19:00~21:00	第6章：総合原価計算
6	2024年1月25日(木)	19:00~21:00	第7章：標準原価計算
7	2024年2月1日(木)	19:00~21:00	第8章：直接原価計算，第1賞：原価計算総論
8	2024年2月8日(木)	19:00~21:00	原価計算総復習

ガイダンス ～〈管理会計編〉スケジュール～

回数	実施日	時間(目安)	実施テーマ
9	2024年2月15日(木)	19:00~21:00	第1章：管理会計総論，第2章：財務情報分析
10	2024年2月22日(木)	19:00~21:00	第3章：CVP分析，第4章：予算管理
11	2024年2月29日(木)	19:00~21:00	第5章：資金管理，第9章：設備投資意思決定
12	2024年3月7日(木)	19:00~21:00	第6章：原価管理
13	2024年3月14日(木)	19:00~21:00	第7章：ABC／ABM，第8章：業務的意思決定
14	2024年3月21日(木)	19:00~21:00	第10章：分権組織とグループ経営
15	2024年3月28日(木)	19:00~21:00	管理会計総復習，第Ⅲ部：補足論点（希望者のみ）

材料費について

24年目標テキスト P 18～ P 31

原価計算基準 11

※スライド番号45ページまであります！！

材料費について

Q.
材料費とは何ですか？

材料費について

Q.
直接材料費と間接材料費を分類するとそれぞれ何が該当しますか。

材料費について

Q.
直接材料費，間接材料費それぞれの費目の計算方法とその計算方法を採用する理由を教えてください。

材料費について

Q.
直接材料費と補助材料費の計算方法について、消費価格と消費量に着目して説明してください。

Q.

工場消耗品費や消耗工具器具備品費は材料^a/_cを用いないことがあります。なぜでしょうか。

Q.

継続記録法と棚卸計算法は何を計算するためのものですか？

材料費について

Q.

継続記録法と棚卸計算法の利点を教えてください。

材料費について

Q.

棚卸減耗費は原価計算上どのように処理しますか？

Q.

棚卸減耗費が間接経費になるのはなぜですか？

Q.

実際購入原価の計算はどのように行いますか？

Q.

外部副費は原価計算基準では何と呼ばれますか？

Q.

外部副費と内部副費に分ける基準は何ですか？

材料費について

Q.

外部副費の具体例は何ですか？

Q.

内部副費はなぜ購入原価に算入しないことができるのですか？

材料費について

Q.

副費を購入原価に算入する場合、賦課か配賦かという論点がありますが。なぜですか？どのように使い分けますか？

Q.

副費には予定配賦が認められていますが、なぜですか？

材料費について

Q.

購入代価は実際に材料副費が予定配賦で計算した場合は予定購入原価になりますか？

材料費について

Q.

副費を購入原価に算入しない場合、どのように処理をしますか？

Q.

内部副費を購入原価に算入しない場合、間接経費として扱いますが、なぜですか？間接材料費にならないのですか？

Q.

値引・割戻の論点はテキストに記載があるのに、割引の論点がテキストに載っていないのはなぜですか？

材料費について

Q.

値引・割戻によって変化する材料費の計算要素は何ですか？

Q.
値引・割戻の場合があった場合の処理を教えてください。

材料費について

Q.

材料の返還・返品について説明してください。

材料費について

Q.

材料の返還・返品処理について説明してください。

材料費について

Q.

材料の返還・返品は物品の消費ではないのにもかかわらずデキストに記載があるのはこういった理由からだと思いますか。

Q.

予定消費価格，予定受入価格の2つが載っていましたが，これは何が違いますか？

材料費について

Q.

予定消費価格の利点は何ですか？

Q.

①材料費の計算が迅速化される。

②材料元帳の計算・記帳事務が簡略化される。

この違いは何ですか？同じことを言っていますか？

材料費について

Q. 下記の問題に対する解答を見て，不完全な（論理的でない）ところを指摘してください。

問：材料費の計算において，予定価格を材料消費時点から用いることで得られる利点を答えなさい。

解答：
予定消費価格を利用すると，材料費を即座に計算することができる。また，材料費は価格変動の影響を受けることなく，消費能率の良否のみを反映する。
（解答欄にはまだ余裕があることとする。）

論理の飛躍について

論文式試験で解答を作る際に気を付けていただきたい点としては。

「論理の飛躍」が起きないようにしてください。

論理の飛躍が起きてしまっている部分というのは、解答だけ読んだときに、「なぜ？」と思わせてしまうものになります。

論理の飛躍がある文章は論理的な文章と言えず、減点ポイントが多くなります。

※もちろん、解答用紙の大きさにもよりますが。

材料費について

Q. 下記の問題に対する解答を見て、不完全な（論理的でない）ところを指摘してください。

問：予定価格を材料受入時点から用いることにより，材料消費時点から用いることで得られる利点に加えて，どのような利点を得られるのか説明しなさい。

解答：
予定価格を材料受入時から用いると，材料元帳の記録は数量だけで済む。また，予定価格による購入原価と実際購入原価の差として計算される受入価格差異は購買部門の活動の良否を示すため，その管理に役立つ。

材料費について

Q. 下記の選択肢から推測される〔資料〕に記載のある情報はどのようなものがあると想像しますか。

- ア. 購入数量を用いて材料副費を一括配賦した場合、材料Aの購入単価は490円であり、材料副費配賦差異は36,350円(貸方差異)である。
- イ. 材料副費を費目別に予定配賦した場合、材料Aの購入単価は478円であり、材料副費配賦差異は32,495円(貸方差異)である。
- ウ. 購入数量を用いて材料副費を一括配賦した場合、材料Aの購入原価は580,800円である。
- エ. 材料Aと材料Bの購入単価の差は、材料副費を一括で配賦した場合よりも、費目別で配賦した方が大きい。

1. アイ 2. アウ 3. アエ 4. イウ 5. イエ 6. ウエ

今週の宿題

※今年から、宿題を始めます！！！！（やったね！）

★趣旨★

- ・ テキチェの勉強がただの暗記になっている人が多々見受けられる。
- ・ もっと構造的に内容を理解してほしい。
- ・ 皆さんの予習がより効果的かつ効率的に行えるようにしたい。

★ルール★

- ・ 内容は毎回最後に発表します。
- ・ 次回のテキチェの範囲に該当する部分の出題をします。
- ・ 提出は次回のテキチェの当日15時までに提出してください(形式は問いません)。
- ・ Googleフォームを利用するので、Googleアカウントをご用意ください。
※大学・会社の組織アドレスは利用できない場合があります（その場合は個人アドレスをご使用ください）。
- ・ 添削は行いません。優秀作品を次回のテキチェ内で紹介します。
- ・ テキストは見てOKです。なるべく図などを用いてまとめてください（ただし、こだわりすぎないこと！）。

今週の宿題

宿題：

費目別計算について、A4用紙1枚にまとめてください。

※条件※

- ① 材料a/c, 賃金a/c, 経費a/cを必ず記載すること。
- ② 材料費は、購入原価の計算について、より詳しく説明すること。
- ③ 労務費は、直接工と間接工をメインに記載すること。
- ④ 経費は、ほぼいりません。間接経費の分類は記載しなくてよいです。
- ④ 時間をかけすぎないこと。色を使いすぎないこと。
- ⑤ 大学の持ち込み可の授業のように、ひたすら情報を入れすぎないこと。
- ⑥ 提出期限は2023年12月21日(木)15:00までとします。
- ⑦ 提出するものにペンネームでもよいので名前を書いてください。
- ⑧ 下記のURL, もしくはQRコードよりファイルをアップロードしてください。

▼宿題提出用QRコード



提出用フォーム：https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfV0vHw7oM_-OEVhifzjKJzMZaJcGdk45kbzdQsQwCxPCdDOg/viewform

※大学・会社の組織アドレスでは、フォームが利用できない場合があります（その場合は個人Gメールアドレスをご使用ください）。